

建築BIMの社会実装に向けた取組について

令和6年7月18日

○部会を横断する課題・データの利用拡大に資する重要課題について、連携すべきインプットとアウトプットを明確にした個別のTF（タスクフォース）を設置し、社会実装を加速化

BIMの形状と属性情報の標準化

BIMの情報共有基盤の整備

BIMを活用した確認検査の実施

BIMによる積算の標準化

部会 ②
BIMライブラリ
技術研究組合(BLCJ)

- ✓ 建築、構造、設備の属性情報の標準化 (空間、床、壁、天井、防水、外壁は未整備)

部会 ⑤
buildingSMART Japan

- ✓ IFC・ビューア・CDEに係る初期検討
- ✓ 施工段階の属性情報の標準化 (一部のみ)

部会 ③
建築確認における
BIM活用推進協議会

- ✓ BIMの生データを用いた審査方法の検討
- ✓ 審査に適したBIMビューアの検討

部会 ④
日本建築積算協会

- ✓ BIMによる積算手法検討
- ✓ 建築物の部位や設備等の分類体系を整備

[維持管理・運用段階におけるデジタル化]は別途検討

【R5新設】 審査TF [リーダー：部会3]
[BIMによる建築確認の環境整備]

- ・ 確認審査用の属性情報の整理
- ・ 確認申請用IFC等のルール策定
- ・ 確認申請用ビューア・CDEの仕様書作成

【R5新設】 標準化TF [リーダー：部会5]
[データ連携環境の整備]

- ・ 設計、施工段階での属性情報の標準化
- ・ ソフトウェア間・外部データとの連携方法の確立

部会 ①
国土交通省

BIMを活用した建築生産・維持管理に係るワークフローの整備

- ・ 将来像と工程表
- ・ ガイドライン 等

【R5新設】 戦略WG
各TFの進捗管理、部会①の部会長への報告

- ✓ TFの運営・実施
 - ・ 関連部会の主要メンバーで構成 (必要に応じて関係団体)
 - ・ ロードマップに基づきワークと役割分担を整理
- ✓ 戦略WGの運営・実施
 - ・ 定期的に各TFの進捗を管理

2023年度 (R5)

2024年度 (R6)

2025年度 (R7)

成果

審査TF

- ・BIM図面審査における審査を定義
(整合性確認省略のデータ要件、PDF形式の図書・IFCデータを用いた審査方法等)
- ・BIM図面審査に用いる確認申請用CDEシステムの仕様書を作成
(クラウドシステムとしての機能要件を整理)

- ・BIM図面審査のためのガイドライン・マニュアル案、ツール案等を作成
(確認申請図書作成、審査等)

- ・確認申請用CDEシステムを構築
(仕様書に基づき開発①)

- ・BIM図面審査運用に向けた準備
(ガイドライン・マニュアル、ツール等の完成と、これらを活用した周知・準備等)
- ・確認申請用CDEシステムを構築
(仕様書に基づく開発②および電子申請受付システムとの連携)

BIM図面審査開始

標準化TF

- ・対象とするオブジェクトの網羅的な枠組みを整理
- ・標準パラメータリストとして部位毎/工種毎に属性情報を整理

- ・標準パラメータリストとその利用方法の公開
- ・ユースケースの検討と、社会実装を図るための中間ファイル等の策定

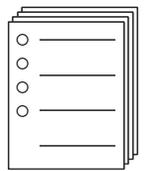
- ・ユースケースとしての概算を含む外部データとの連携の試行

異なるソフト間で支障なくデータ連携できる環境

■BIM図面審査の概要イメージ

○入出力基準

BIMデータから出力された図書の「形状」、「表記」又は「計算」に関して、図書の記載事項の整合性が確保されるための入出力の基準



入出力基準に基づき、BIMデータを作成

作成にあたり、参考テンプレートを使用することが可能（使用は必須ではない。）



BIMデータ
(オリジナルデータ)

BIMデータからIFCデータ(①)とPDF形式の図書(②-1)を出力



(BIM由来でない図書)

一部の図書はCAD等で作成しPDF化(②-2)



申請者 (設計者)

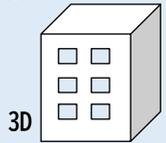


入出力基準に従いBIMデータの作成等を行ったことをチェック(③)

①②③を提出

確認申請用CDE※1 (BIM図面審査用のCDE)

①IFCデータ※2

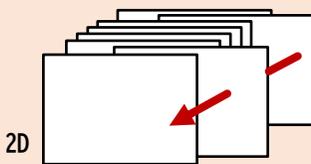


3D

審査対象外 (参考扱い)

審査対象

②PDF形式の図書
(従来と同様の申請図書)



2D

整合性確認※3 (一部を省略)

設計者チェックリストによる申告に基づき、一部の整合性確認を省略

③設計者チェックリスト

入出力基準に従いBIMデータの作成等を行ったことについて、設計者が申告する書類

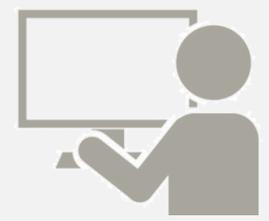


BIMビューアにより閲覧し、形状の把握・理解に利用



審査

審査者



- 整合性の確認
- 明示事項の審査
- 法適合の審査

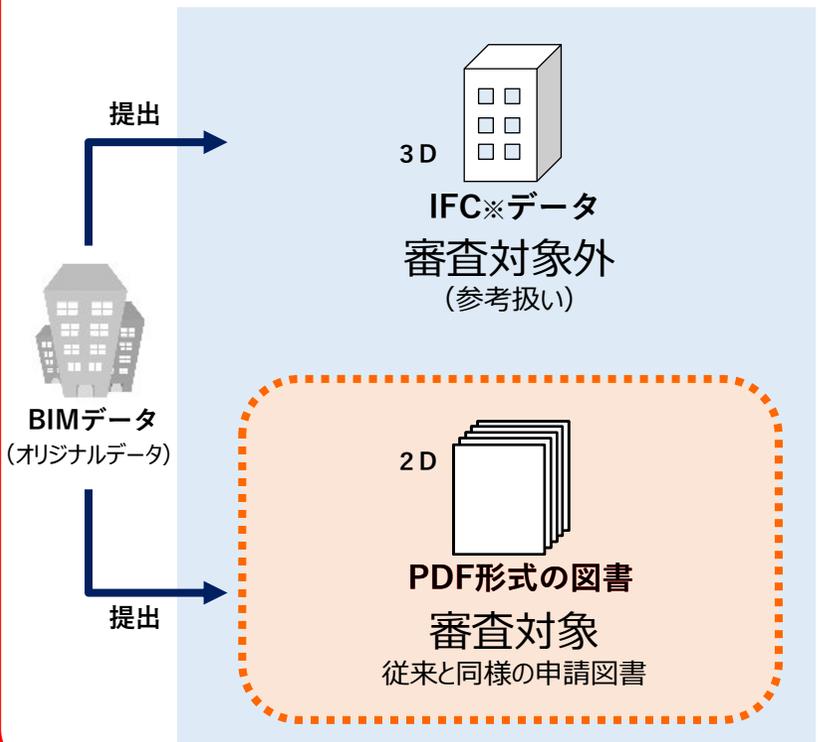
整合性の確認を省略する範囲を確認

- ※1 国土交通省の支援により整備が進められている確認申請用CDEの審査環境を標準とする。
- ※2 BIMの共通ファイルフォーマット
- ※3 図書の複数個所に記載された審査に必要な情報のうち、形状・位置・数値が同一、あるいは文字情報の意味内容が同一であることを確認すること。

BIM図面審査

BIMデータから出力されたIFCデータとPDF形式の図書の提出により、図面間の整合チェックが不要となり、審査期間の短縮に寄与

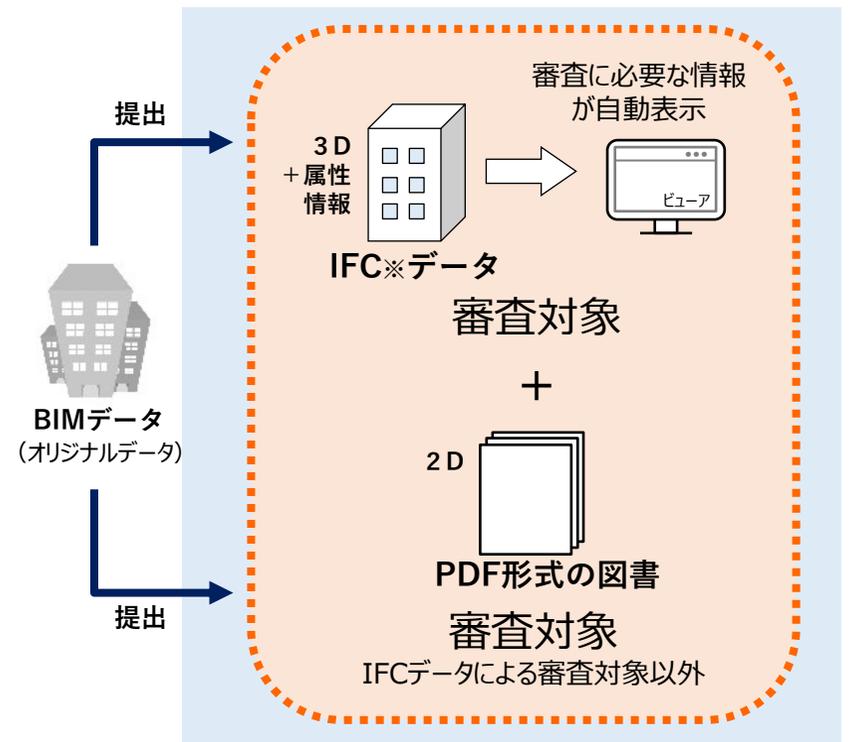
2026年春 開始 → 2027年度 全国展開



BIMデータ審査

IFCデータを審査に活用し、審査に必要な情報が自動表示されることにより、更なる審査の効率化（審査期間の更なる短縮）に寄与

2029年春 → 将来像
IFCデータを活用した審査対象を順次拡大



※ IFC : BIMの共通ファイルフォーマット

